

# 潤うるおい

2009年  
1月1日発行

No.  
35



(財)潤和リハビリテーション振興財団

潤和会記念病院

病院長 呉屋 朝和

〒880-2112 宮崎市大字小松1119番地

TEL0985-47-5555 FAX0985-47-8558

<http://www.junwakai.com>

## 謹んで新春を迎えられることへの ご祝詞を申し上げます

副院長(内科) 中村 茂



病気に悩んでおられる方も、病気を克服することに手助けをしようとされておられる方々も、ともにここに目を留めていただいております皆様とともに、平成21年の新春を迎えることのできるお喜びを申し上げたいと存じます。

昨年は皆様にとっていかがな年でありましたでしょうか？常日頃治療されておられる方々、思いもかけず急に治療されなくてはならなくなった方々、また地域の皆様のために日々ご尽力くださっておられる医療や介護関連の方々などをはじめ、私たち当院勤務者などにとってもいろんな境遇があり、様々な思いがございましたが、何はともあれ新年を迎えられることのできました皆様にとっていい年となりますように願う次第です。

さて、私たちにとって2009年とはどのような年となりうのでしょうか？その前に当院にとって昨年は数点においていくつかの改革がみられました。その一つに病院機能評価ver5の取得ができました。

病院機能評価を取得するためには否応なしに病院勤務者全体をまきこんで実にさまざまな見直しと改良に労力を注ぎこむことになりました。

このことでの一番の収穫は少なからず私たち病院勤務者の意識改革につながったことであるといえます。

次にDPC制度すなわち急性期入院医療の包括的診療報酬制度の出発年となりました。このことに対する評価はほかの制度導入とも関りあっていて明確な評価はもう少し時間を必要とするでしょう。

さらには7対1看護体制をとり入れ、患者様に接する時間が作れるようになってきたと思っています。

しかし残念ながら医師数不足は全国的に特に地方においては深刻さを増してきております。宮崎県内においても、東国原知事が呼びかけたように県立病院でも現実のものとなってきていますし、自治体病院でもすでに閉院間近のところが多数出ているようです。

救急部門、産科、小児科、脳外科さらに病院勤務では内科においても問題が発生してきています。宮崎市では医師会病院の内科が閉鎖となり各地に大きな波紋をひろげています。

連日新聞のどこかにこの問題が取り上げられない日がないくらいです。政府は医学部学生の入学定員を増員して対応しようとしているようですが効果が現れるには相当の日数が必要でしょう。

徳島大学病院では専門看護師による外来ナースセンターを設置して入院治療計画などを丁寧に説明する部門を設置したなど、各地で対策を考案しているようです。いろんな手だてが考案されていますが決め手がなく、今年も最大の悩みとなるでしょう。

いろんな悩みが想定されますが、明るいきざしが見えないわけでもなさそうですので、皆様のご理解とご協力を得ながら、地域の病院や施設の方々とも協力して、皆様の闘病の手助けができれば、病院職員一同今年も一年頑張っていきたいと存じます。



# 病理とは？

病理診断科部長 林 透

病理学。あまり聞き慣れない言葉かもしれませんが。お仕事は何をなさっているのですかと尋ねられ、病理をしています、と答えるとそれは何ですかといつも訊かれます。

一般の方々に病理学というものを認識なさっているひとは少ないようです。事実、私がまだ大学の病理学教室に在籍していたころ教室旅行に出かけた際宿泊先の旅館に「**料理学**教室ご一行様」という看板が掲げてあったことがありました…。

病理学pathologyとは病気および病的状態の本質について研究する医学の一分科です。また医学や看護学など医療に関連する分野にすすむ場合にはこの学科を学んだ上でさらに臨床の勉強を積み上げて行きます。そのため病理学は臨床医学に対して解剖学や生理学、生化学などと共に基礎医学の分野に入れられる傾向にあります。

しかし診療においては病理学的知識や病理学的診断を必要とすることは多く、そのことから病理学は臨床医学と密接に関わっていることとなります。

## 病院における病理

ある程度の規模の病院になると病理医が常駐しております。しかし宮崎県ではそのような病院は少なく、病理医が専任として勤務している病院は、当院以外では大学病院、宮崎、延岡、日南の県立病院だけです。そこでは日々の病理診断を行うばかりでなく、各症例の診療において臨床医へ病理学的立場からの意見を述べたり情報を提供するなど、疾病や疾患などに対して臨床家の視点以外からのアプローチの可能性をも提供していると思います。また病理学的検索から治療の効果やその是非を検証することもあり、診断精度や治療のレベルアップに寄与していると自負しています。

## 病理業務の実際

中心となる仕事は生検や手術などで採取された組織を肉眼的、顕微鏡的に観察し病理学的診断を行っていきます。そのための標本はホルマリンで固定した組織から作られ、パラフィンという蠟のような物質に“包埋”したものを“マイクローム”という器械で薄切、染色液でコントラストをつけて顕微鏡で観察されます。このように形態から診断するというばかりでなく、近年では抗原・抗体反応を利用した免疫組織化学でいろいろな物質の同定まで行えるようになり、癌の分類やその癌の悪性度の判定、さらに治療効果の予測まで行うようになりました。特にこの数年は癌遺伝子産物などに対する分子標的療法が進んできており、それに対する治療予測因子検定が必要とされるようになりました。特に乳癌や大腸癌などの分野でその発展は著しいようです。

# 記念病院 理念

## 「人間愛」

### 記念病院 基本方針

1. 患者様の人権と意思を尊重し、患者様の立場に立った医療を提供します。
2. 地域の中核的病院として、専門的且つ高度な医療を実践します。
3. チーム医療を推進し、より良い医療を目指します。
4. 豊かな人間性を兼ね備えた医療人を育成します。
5. 職員が意欲を持って働ける職場環境を作ります。



# 薬の飲み方とその重要性

普段、飲まれているお薬について、なぜ、様々な飲み方があるのかを考えたことがあるでしょうか。今回は、お薬の飲み方を重点的に説明します。

## 食後服用

食事を摂取してから20～30分後に飲む飲み方です。食後20～30分後には、まだ食べ物が胃の中に残っており、胃に対する刺激を少なくし、ほどよく吸収されることを目的とした飲み方です。また、食事の後は飲み忘れることが少ないという理由もあります。

## 食直後服用

食事を摂取してからすぐ後に飲む飲み方です。胃や腸に障害を起こす可能性のある一部の鎮痛剤や抗生物質などは、この飲み方となります。また、食事を摂取してからすぐに飲む方が吸収の良くなるお薬などは、この飲み方になります。

## 食前服用

食事を摂取する20～30分前に飲む飲み方です。血糖値を下げるインスリンの分泌を促す糖尿病薬などが対象となります。漢方や胃酸の分泌を促して食進を亢進する薬や、吐き気止めのお薬等もこの飲み方になります。糖尿病薬に関しては、食事で血糖値が上がるため、食前服用となります。



## 食直前服用

食事を摂取する直前（5～10分前）に飲む飲み方です。糖の吸収を抑えることによって、血糖値を下げる糖尿病薬などが対象となります。

## 食間服用

食事を摂取してから2時間後を目安にして、食事と食事の間の空腹時に飲む飲み方です。

※決して、食事を食べている最中に飲むことはありません。漢方薬は、食前服用、もしくは、この飲み方で服用するのが一般的です。

## 寝る前

寝る約30分前に飲む飲み方です。睡眠薬など寝つきを良くするお薬や、便のお通じを良くするお薬などは、この飲み方になります。

## 起床時

朝起きてすぐ（食事の前）に飲む飲み方です。骨を丈夫にする薬などは、この飲み方で服用します。

## 頓服

熱がある時、痛い時、便秘時など、食事の時間に関係なく、必要時に飲む飲み方です。

## その他

上記以外に、頓服薬以外でも、食事に関係なく飲むお薬(食事に関係なく、同じ効果を発揮する薬)も中にはありますが、この場合、一般的には飲み忘れの少ない食後服用で処方されることが多いです。しかし、中には、食後に服用すると、お薬の効果の効果が低くなる（例、糖尿病薬、一部の吐き気止めは食後服用では効果が間に合わない）ものや、逆に、効果が高くなりすぎて(例、漢方薬は食事により吸収量が増加し、効果増大)、重大な副作用を引き起こすお薬もあります。この場合は、食前服用、食直前服用や食間服用で処方される場合が多いです。中には、食事の影響を受けにくい寝る前に飲むものもあります。

## 最後に

上記のように、お薬には、特殊なものもありますので、処方されている用法・用量を守って服用することは非常に大切です。もし、飲み忘れがあった場合は、「1度に2回分飲む」、もしくは、「思い出したときに飲む」ことは、1回の用量が多い、次のお薬を飲む時間帯に近い等の理由により、副作用が起きてくる可能性(時には重大な副作用発生)もありますので、自分の判断で服用することは避け、医師、看護師、薬剤師等に相談して頂きますようお願いいたします。



# みなさんこんにちは！

新しく来られた先生の紹介をいたします。

**森山 拓造** (もりやま たくぞう) 46才

- 【担当科】脳神経外科
- 【出身大学】宮崎医科大学
- 【趣味・特技】サイクリング、スイミング
- 【自己PR】20年ぶりに記念病院に戻ってきました。  
宜しく願い致します。



## .....第26回屋内消火栓操法大会出場.....

毎年宮崎市内の事業所が参加して行われる、宮崎地区屋内消火栓操法大会に、記念病院を代表し看護部から**男子2チーム、女子1チーム**が出場しました。今年は、男子39チーム、女子12チームが参加しました。

昨年は、惜しくも賞を取ることはできませんでしたが、今年は、10月から練習を重ね、消防署職員の方のご指導をいただいた結果、「**潤和会フレッシュチーム**」が**優秀タイム賞**に輝きました。



### 出場メンバー

#### 【潤和会フレッシュ】

(N3) 安富千明 (N5) 志摩結花  
(N6) 弓削友岐 (S4) 木佐貴友希

#### 【潤和会ボディ】

(手術室) 井川達朗 (N6) 岡元貴博  
(S6) 金丸謙治 (S6) 杉田智一

#### 【潤和会ライフサポート】

(ICU) 川田洋史 (N4) 大坪龍司  
(S3) 守川隼人 (S6) 湯地英智

## あ と が き

皆さんは日頃どのような心で生活していますか？

様々なストレスが存在する現代社会においてリラックスできる環境というのはそれぞれですが、心の休暇と言われるものにより、動物と触れ合うことにより、悩みから解放される(アニマルセラピー)、季節毎のお花に触れることで疲れを癒してくれる(フラワーセラピー)、また、芸術を通して豊かな日々を創造する(アートセラピー)など色々な方法があります。

そのようななか、自然の豊かな宮崎県内には、心身の安らぎの場として「森林セラピー基地」と認定を受けたいくつかの地域があります。

森林セラピー基地として認定されるには、社会や環境の整備が一定の条件を満たし、かつ、科学的に心理生理的な効果が認められる必要があります。県内の認定地域である日之影町、綾町、北郷町は、それぞれの地域の地形や特色を生かして、自然の中に癒しを求めようとする方々に穏やかな一時

を提供してくれます。

森林セラピーとは、人に適した優しい自然環境に身を置くことで心の調和を図るもので、五感を使って「森の力」を享受することです。

### 聴くこと

木の葉のささやき、小鳥のさえずりを聴くことで心がおちつきます。

### 触れること

肌で自然に触れることで自然の温かさを感じることで出来ます。

### 見ること

美しい自然を見ることで、澄んだ心をもたらします。

### 嗅ぐこと

自然の香りを取り入れることで、心身ともにリフレッシュされます。

### 食べること

木の葉や、湧き水を味わうことで、心の充足感を得られます。

この他にも宮崎の自然には、宮崎でしか感じるものの出来ない素敵な発見があると思います。

皆さんも機会がありましたら、是非これらの森を訪れ、各々の楽しみ方、感じ方、自然の恵みを受け、心も体もリフレッシュして頂けたらと思います。